



お元気ですか

志村 たかよし です

第551号 2011年7月31日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
 電話 3546-5563
 FAX 3546-9570

「給食の安全に関する請願」の主旨を委員会で採択

みんなの党
は反対

「区内全保育所・全区立学校における給食の安全に関する請願」の請願主旨（抜粋）

東日本大震災に起因して発生した東京電力福島第1原発の深刻な原子力事故は現在も予断を許しません。…（中略）…。健康への影響が特に大きいとされる乳幼児・児童・生徒への対応には、改善の余地があると考えています。とりわけ、外部被ばくと同等以上に食物等から体内に取り込まれる内部被ばくについては、今後、重大な健康被害が起こる危険性を多くの専門家が指摘しています。家庭では管理することの出来ない保育所・学校施設における給食の安全性に万全を期していただくことはもちろんのこと、今般の未曾有の原子力災害に対する緊急対応として各御家庭に食の情報開示と選択肢を与えていただく必要があると考えます。

「放射線ゼロをめざさない方が良い。ノイローゼを増やす」と参考人

6月の第2回定例会に提出された「区内全保育所・全区立学校における給食の安全に関する請願」は、区民文教委員会と福祉保健委員会で審議され、7月25日に採決が行われて請願主旨（左記）を採択しました。日本共産党は賛成、みんなの党は反対しました。

審議で紹介議員・請願者の説明と請願内容の不一致が明らかに
 請願は7月14日と15日にそれぞれの委員会で審議され、紹介議員の田中耕太郎議員（みんなの党）と請願者福山照一氏の説明がありました。

しかし、説明と請願事項の内容に不一致があり、真意がどこにあるのか判断できないものでした。

産地情報開示を求めながら

実際は東北の食材の排除が目的

請願書の請願事項1では、早期の産地表示を求めているのですが、福山氏は「東北ではなく西の方の食材を使ってほしい」と繰り返し要求しました。

そのことは請願事項には記述されておらず、請願内容と説明とに不一致が生じていました。

「横浜市以上の測定」を求めながら説明では「最大限の努力を」と抽象的に変化

請願事項2で、給食食材の放射性物質測定について「横浜市と同等以上の測定を求めると」と具体的に求めているのですが、田中議員

の説明は「中央区でできる最大限の努力を求める」という抽象的なものにトーンダウンしていました。

ここでも請願事項と説明とに違いが生まれました。

3つの請願事項について

整合性がとれない説明

請願事項3は「給食・弁当の選択制の導入」です。

質疑応答のなかで、請願事項1の「産地表示」と請願事項2の「放射線物質測定」が実現しても請願事項3の「給食・弁当の選択制」を求めるのかとの質問に、福山氏は「安全と言われても不安なので弁当持参を選択できる制度を導入してほしい」と答えました。

請願者の真意は、産地表示や放射線量の測定ではなく給食と弁当の選択制でしたので、請願事項1、2を求める必要がなくなり、請願自体の整合性がとれなくなります。

「放射性物質ゼロをめざさない方がよい。ノイローゼを増やす」と参考人が暴論！

区民文教と福祉保健の合同委員会は、7月25日に、国際医療福祉大学クリニック院長 鈴木元氏を参考人として招き、講演と質疑応答を行いました。

日本共産党の奥村暁子委員は、鈴木参考人にたいし「原爆時のデータをもとに安全かどうかの判断をしていることが適切なのか」「高濃度汚染水の魚介類に及ぼす影響は深刻ではないか」「子どもに放射線量ゼロの食料を与えるにはどうしたらよいか」「放射性物質があるかないかだけを判断する分析器使えば可能ではないか」と質問し、鈴木氏は指摘を認めつつも「ゼロを目指さない方がよい。不安をかきたてノイローゼを増やす」となどと発言し「御用学者」の一面をのぞかせました。

日本共産党は、原発事故直後から放射能対策を区長に申し入れ

党区議団は、3・11直後の3月15日と17日に、区長に対し震災被害対策と併せて放射線の測定等の放射能対策について申し入れを行いました。

また、6月の本会議で私(志村)は、すべての小中学校と幼稚園・保育所などでの放射線測定と、学校給食の食材の放射線量の測定と

公表を区長に求めています。その立場から、冒頭のように請願主旨の採択に賛成しました。

日本共産党は、ひきつづき被災地支援に力を尽くすとともに、区に対して、放射線の被害から区民の命と暮らしを守る施策の充実や給食食材の産地表示の改善、放射線量の測定と公表、弁当持参への柔軟な対応など求めていきます。

志村たかよし事務所主催「原発・放射線問題学習会」

～技術者の目から見た原発の恐ろしさと子どもたちの未来について～

福島原発で起きていること

7月30日(土) 午後1時半～3時半

参加費 無料

講師



元原発技術者
小倉志郎さん

会場
ART SPACE はね
(明正小すぐそば)



「意見」「要望」など、お気軽に「ご連絡ください」(090-6600-0000)